

# 認定書

国住参建第65号  
令和8年4月23日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 玉垣 雅之 様

国土交通大臣 金子 恭之

下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

- 認定番号  
PS060FL-1176-1
- 認定をした構造方法等の名称  
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
- 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。  
令和7年10月1日より大臣印の押印が廃止されております。

## 別 添

## 1. 構造名：

給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ208mm以下)
	面積	0.0340m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総 合計の割合)		63.0%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル 厚さ100mm以上 又は 鉄筋コンクリート造 厚さ75mm以上

## 3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様		
熱膨張性 シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート	
		寸法	総厚さ：3.18(±0.1)mm以上 幅：70mm以上(埋設部70mm以上)	
		使用箇所	配管の外周部に一周以上巻き付け (突き合わせ又はオーバーラップ)	
	表面材 (外面側)	材料	①又は② ①ガラス繊維強化アルミニウムテープ ②アルミニウム系テープ	
		厚さ	0.18(±0.1)mm以上	
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム	
		組成 (質量%)		
		厚さ	3.0mm以上	
		密度		
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリ塩化ビニル系フィルム ③ナイロン系フィルム	
		厚さ	0.05mm以下	
	充てん材	材料	セメントモルタル	
組成 (質量%)		普通ポルトランドセメント	25	
充てん量		砂	75	
		配管と躯体(床)との隙間に密に充てん (床厚方向 75mm以上)		

表3 配管の仕様

項目	仕様			
配管 (給水管・ 排水管)	ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO 4427、 日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用 ポリエチレンパイプシステム研究会規格： PWA001、PWA005、配水用ポリエチレンパイプ システム協会規格：PTC K 03、日本ポリエチ レンパイプシステム協会規格：JP K 001、JP K 002、JP K 003)	外径	φ 125mm 以下	11.4mm以下
	ポリブテン管(JIS K 6778)		φ 114mm 以下	9.55mm以下
	①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741)(記号：VP、HIVP) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742)(記号：VP、HIVP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776)(記号：HT) (ただし、JIS に規定する外径及び厚さ以外の 管については、規定された要求性能を満足す るもの)		φ 165mm 以下	9.6mm以下
	結露防止層付硬質塩化ビニル管 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層		φ 89mm 以下	10.0mm以下
		厚さ		

## 4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
貼り合わせ用テープ	材料	仕様：あり又はなし ①～⑤の一、又は組み合わせ ①ポリオレフィン系 ②ポリプロピレン系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系
	寸法	厚さ：0.2mm以下 幅：70mm以下 長さ：100mm以下
	使用箇所	必要に応じて、熱膨張性シートの固定に使用

5. 構造説明図：  
構造説明図を図1に示す。

単位 mm

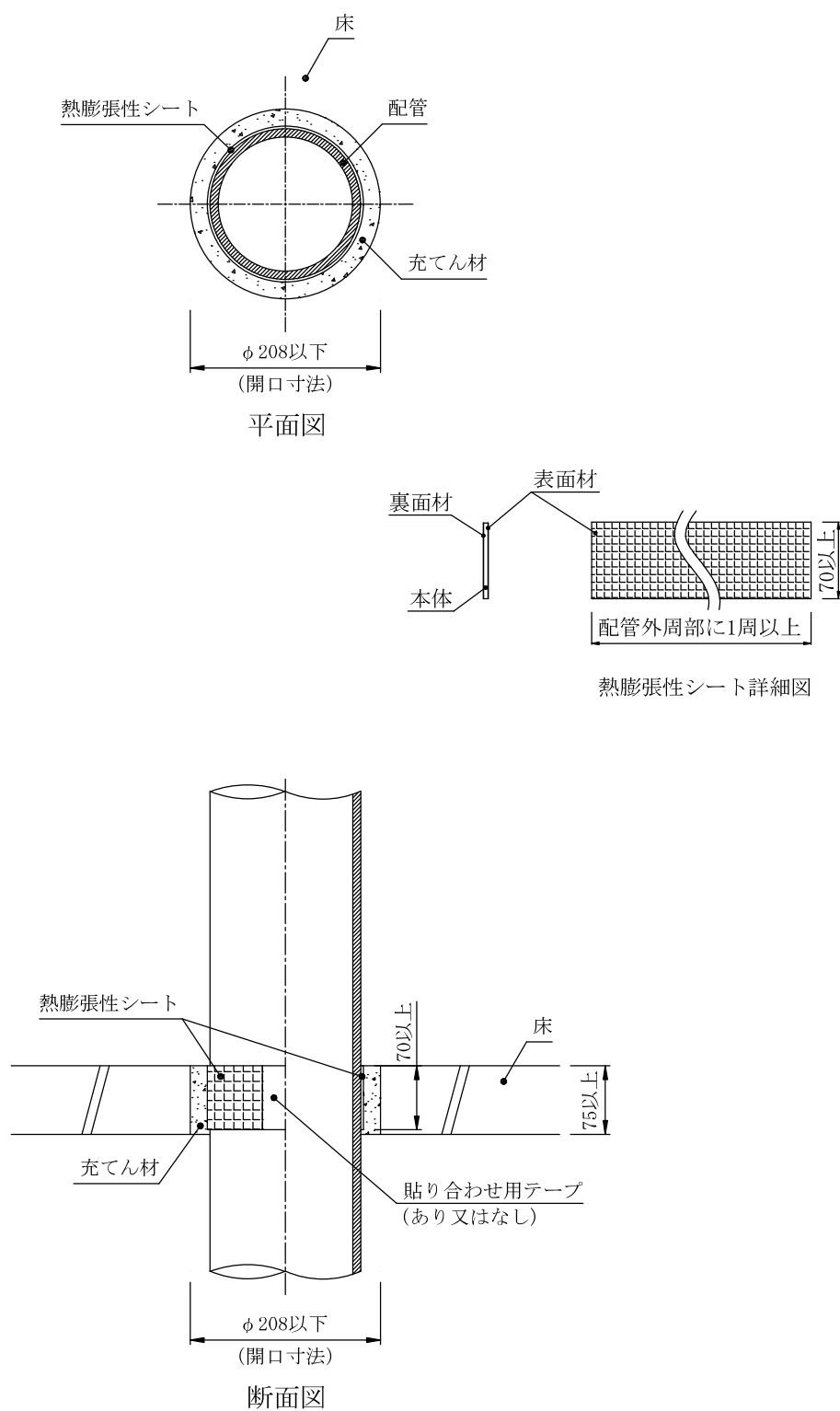


図1 構造説明図(施工図)

## 6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

### (1) 貫通開口部の設定

ボイド管やコアドリル等を用いて貫通孔を設ける。

### (2) 配管の設置

配管を設置して支持・固定する。

### (3) 熱膨張性シートの巻き付け

熱膨張性シートを配管に対して一周以上巻き付け(突き合わせ又はオーバーラップ)、必要に応じて貼り合わせ用テープで熱膨張性シートを固定する。

### (4) 熱膨張性シートの設置

熱膨張性シートを 70mm 以上埋め戻すようにスライドさせる。

熱膨張性シートの幅が 70mm を超える場合は、超えた分が床からはみ出していても良い。

### (5) 充てん材の埋め戻し

配管と躯体の開口部の隙間に、充てん材を密に（床厚方向 75mm 以上）充てんする。